

令和 7 年度集団指導資料

- ・ 事故報告について
- ・ 感染症報告について

◆施設指導係 全サービス種別

◆居宅サービス指導係 全サービス種別

◆ケアマネジメント指導係 全サービス種別

仙 台 市 介 護 事 業 支 援 課

(令 和 7 年 集 団 指 導)

事故報告について

令和 6 年 11 月 29 日付「介護保険施設等における事故の報告様式等について」（老高発 1129 第 1 号等）により、事故報告の標準報告様式が示されました。

令和 7 年 7 月 1 日報告分より、原則として厚生労働省より示された標準報告様式で報告してください。

1. 報告に際しての変更事項

電子申請で提出していただく、事故報告様式が変更となります。

変更前：事故報告書（仙台市参考様式）ワード

変更後：標準報告様式（エクセル）

※ 報告項目等を満たしていれば、法人の独自様式でも報告は可とします。

2. 報告方法等について

(1) 報告が必要な事案

以下のいずれかに該当した場合には、事業所側の過失の有無に関わらず、本市への報告が必要です。

① サービス提供中（送迎・通院間も含む）の怪我または死亡事故

※ 怪我は、医師（施設の勤務医、配置医を含む）の診断を受け投薬、処置等何らかの治療が必要となった事故

例①：腰椎圧迫骨折により、補装具（コルセット）、頓服薬（痛み止め）、外用薬（シップ）が処方された場合

例②：裂傷等により、医師により、縫合・創洗浄が行われた場合

例③：送迎中の事故により、治療を要したもの

例④：脳梗塞により、救急搬送され、転倒等によるものか判断がつかないもの

※ 死亡については、老衰・病死等の主に加齢を原因とする事案は報告不要

② 無断外出

※ 警察・消防等が関わったものは、報告すること

③ 誤薬、与薬漏れ、異食、医療措置関連（チューブ抜去等）、誤嚥、窒息、溺水の事故

※ 医師（施設の勤務医、配置医を含む）の診断を受け投薬、処置等何らかの治療が必要となった場合に限り報告すること

④ その他、管理者等が報告が必要と判断したもの

(2) 第一報

事故が発生次第、速やかにせんだいオンライン申請サービスで第一報の報告をお願いします。

※ 緊急を要する場合等を除き、本市への電話での報告は不要です。

(3) 事故報告書の提出

第一報を報告後、10 日以内に、せんだいオンライン申請サービスにてご提出ください。

※ やむを得ず、事故報告書の提出が遅れる場合は、電話にてご連絡ください。

(4) 事故報告書の報告様式

標準報告様式を改めてご確認の上、報告の際にご活用いただきますようお願いいたします。

※ 任意の様式でも差し支えありませんが、標準報告様式の内容を網羅していただくようお願いいたします。

3. 留意点

- ・提出する事故報告書のファイル名は、「提出年月日（サービス種別）施設名」としてください。

例：「〇〇ホーム」という名称の介護老人福祉施設が令和 7 年 7 月 1 日に事故報告書を提出する場合は、「070701（介護老人福祉施設）〇〇ホーム」としてください。

- ※ ファイル名に記載するサービス種別は略称等を使用していただいても差し支えありません（「介護老人保健施設」→「老健」など）。

一度の申請で、複数の事故報告書を提出する場合は施設名の後に「①」「②」などと番号を付けてください。

- ・事故報告書の提出後、対象者が死亡する等、状況に大きな変化があった場合は、下記担当まで電話にてご連絡ください。
- ・サービス種別により、せんだいオンライン申請サービスの申請フォームが異なります。
- ・報告の必要性について判断しかねる場合には、各サービス種別担当までご相談ください。
- ・報告に基づき、追加書類の依頼や調査を行う場合もございますので、あらかじめご了承ください。

4. その他

- (1) 以下の事案が発生した際は、速やかに電話にて下記担当までご連絡ください。

担当より書類の提出等の依頼をさせていただく場合があります。

① 受傷、過失の有無等に関わらず、仙台市への問い合わせ等が想定される場合

- ※ 第一報が利用者家族や匿名通報にて入った場合は、事実確認のため必要により説明や報告等を求めます

② 職員の法令違反・不祥事等の発生

- ※ 利用者への虐待や預かり金の横領、個人情報流出等、利用者の処遇に著しく影響があったもの等を報告すること

③ その他、管理者等が報告が必要と判断したもの

(2) 事故報告に関する内容は、下記本市ホームページをご確認ください。

○ 仙台市ホームページ

「介護保険施設、事業所等における事故発生時の報告について」

<https://www.city.sendai.jp/shidodaini/jigyosha/fukushi/fukushi/koresha/jikohoukoku.htm>
ml ホーム〉事業者向け情報〉福祉・医療〉福祉〉高齢者施設・介護保険などサービス〉介護保険施設、事業所等における事故発生時の報告について

【担当】

○入所系施設

施設指導係：022-214-8318

○訪問・通所系事業所等

居宅サービス指導係：022-214-8192

○居宅介護支援事業所等

ケアマネジメント指導係：022-214-8626

標準報告様式

事故報告書（事業者→仙台市）（別紙）

※第1報は、少なくとも1から6までについては可能な限り記載し、事故発生後速やかに、遅くとも5日以内を目安に提出すること
※選択肢については該当する項目をチェックし、該当する項目が複数ある場合は全て選択すること

<input type="checkbox"/> 第1報		<input type="checkbox"/> 第 報		<input checked="" type="checkbox"/> 最終報告		提出日： 7年 7月 1日				
1 事故状況	事故状況の程度	<input type="checkbox"/> 置 <input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
	死亡に至った場合 死亡年月日	西暦		年		月		日		
2 概要 事業所の	法人名	社会福祉法人 ○○会								
	事業所（施設）名	○○苑			事業所番号	412345678				
	サービス種別	介護老人福祉施設								
	所在地	仙台市青葉区国分町3-7-1								
3 対象者	氏名・年齢・性別	氏名	センダイシロウ		年齢	100		性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
	サービス提供開始日	西暦	2000	年	4	月	1	日	保険者 仙台市	
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所所在地と同じ <input type="checkbox"/> その他（ ）								
	身体状況	要介護度		<input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input checked="" type="checkbox"/> 自立						
		認知症高齢者 日常生活自立度		<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II a <input type="checkbox"/> II b <input type="checkbox"/> III a <input type="checkbox"/> III b <input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> M						
4 事故の概要	発生日時	西暦	2025	年	6	月	20	日	23 時 59 分頃（24時間表記）	
	発生場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室（個室） <input type="checkbox"/> 居室（多床室） <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 食堂等共用部 <input type="checkbox"/> 浴室・脱衣室 <input type="checkbox"/> 機能訓練室 <input type="checkbox"/> 施設敷地内の建物外 <input type="checkbox"/> 敷地外 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
	事故の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 誤薬、与薬もれ等 <input type="checkbox"/> （自由記載3） <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 医療処置関連（チューブ抜去等） <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 誤嚥・窒息 <input type="checkbox"/> 自企 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 異食 <input type="checkbox"/> （自由記載2）								
	発生時状況、事故内容の詳細									
	その他 特記すべき事項									
	発生時の対応									
5 事故発生時の対応	受診方法	<input type="checkbox"/> 施設内の医師（配置医含む）が対応 <input type="checkbox"/> 受診（外来・往診） <input checked="" type="checkbox"/> 救急搬送 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
	受診先	医療機関名	市立病院			連絡先（電話番号）	省略			
	診断名	右大腿骨転子部骨折								
	診断内容	<input checked="" type="checkbox"/> 切傷・擦過傷 <input type="checkbox"/> 打撲・捻挫・脱臼 <input type="checkbox"/> 骨折(部位:) <input type="checkbox"/> その他（ ）								
	検査、処置等の概要	C T ・ M R I								
6 事故発生後の状況	利用者の状況									
	家族等への報告	報告した家族等の 続柄	<input type="checkbox"/> 配偶者 <input checked="" type="checkbox"/> 子、子の配偶者 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
		報告年月日	西暦	2025	年	6	月	21	日	
	連絡した関係機関 （連絡した場合のみ）	<input type="checkbox"/> 他の自治体 <input type="checkbox"/> 警察 <input type="checkbox"/> その他 自治体名（ ） 警察署名（ ） 名称（ ）								
	本人、家族、関係先等 への追加対応予定									
	（独自項目追加欄）									
7 事故の原因分析 （本人要因、職員要因、環境要因の分）	（できるだけ具体的に記載すること）									
8 再発防止策 （手順変更、環境変更、その他の対応、）	（できるだけ具体的に記載すること）									
9 その他										

5. 令和6年度事故報告の状況について

(1) 全サービス種別の報告件数

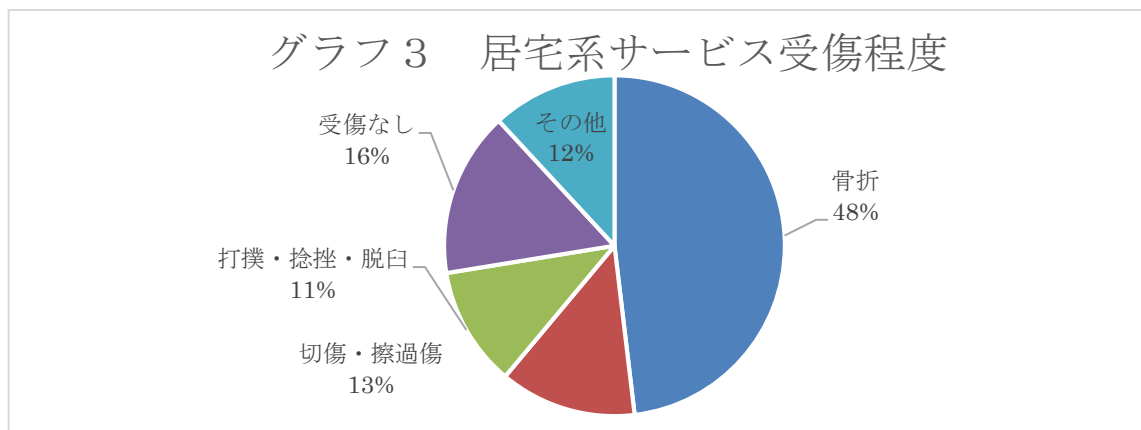
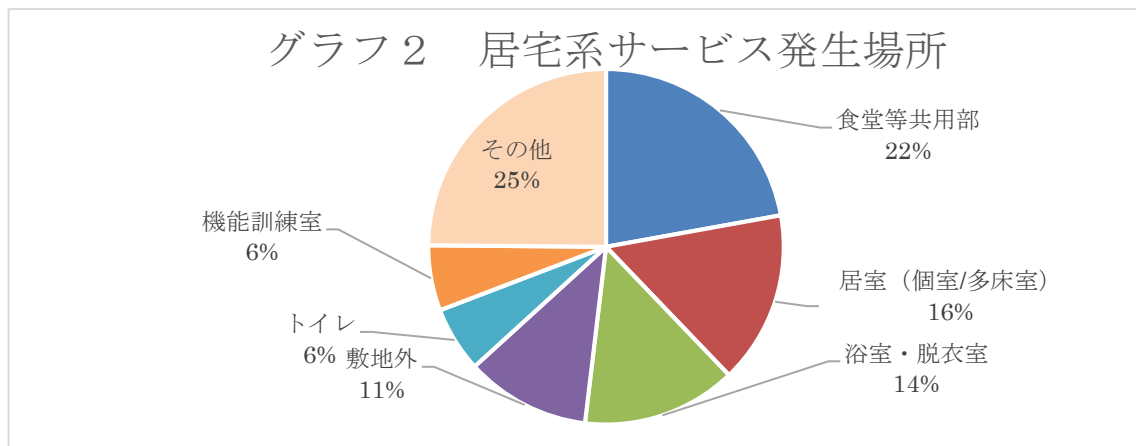
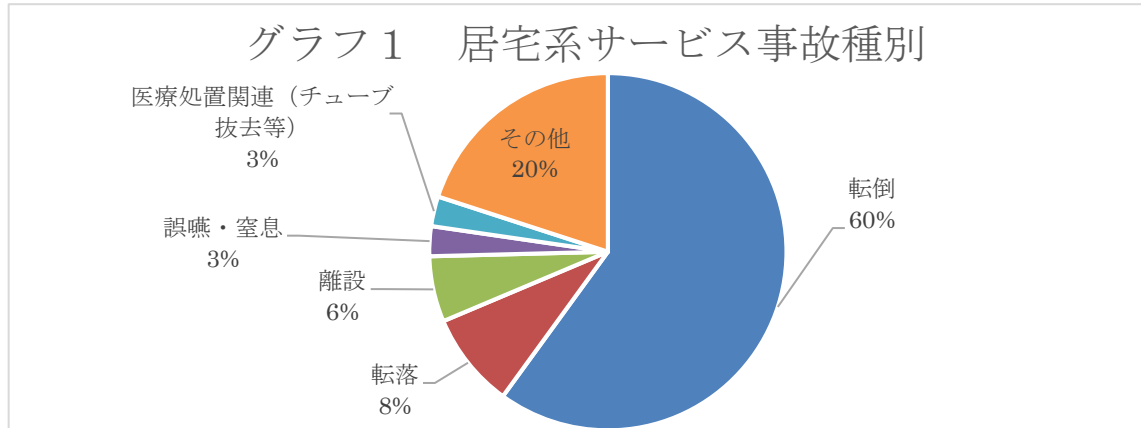
サービス名	報告件数
1. 訪問介護/訪問介護型サービス/生活支援訪問型サービス	13
2. (介護予防) 訪問入浴介護	1
3. (介護予防) 訪問看護	4
4. (介護予防) 訪問リハビリテーション	0
5. 通所介護/通所介護型サービス/生活支援通所型サービス	76
6. 生活支援通所型サービス (単独)	0
7. (介護予防) 通所リハビリテーション	28
8. (介護予防) 福祉用具貸与・特定(介護予防) 福祉用具販売	2
9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
10. 夜間対応型訪問介護	0
11. 地域密着型通所介護/通所介護型サービス/生活支援通所型サービス	19
12. (介護予防) 認知症対応型通所介護	6
13. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	30
14. 看護小規模多機能型居宅介護	6
15. 介護老人保健施設 (長期入所)	259
16. 介護老人保健施設 (短期入所療養介護)	10
17. 介護老人福祉施設 (長期入所)	343
18. 介護老人福祉施設 (併設短期入所生活介護)	85
19. 認知症対応型共同生活介護	231
20. 特定施設入居者生活介護	313
21. 住宅型有料老人ホーム (20 に該当しない事業所)	151
22. サービス付き高齢者向け住宅 (20 に該当しない事業所)	61
23. 軽費老人ホーム (20 に該当しない事業所)	33
24. 短期入所生活介護 (18 に該当しない事業所)	16

※ 各サービスに、介護予防サービスも含む

※ 医療みなしの事業所は含みません

(2) 居宅系サービスの事故報告の状況

前ページにおけるサービス名「1～14」を居宅系サービスとして扱っています



居宅系サービスでは、事故種別は、転倒が多く発生しており、発生場所のおよそ半数は、食事、入浴、リハビリ等のサービス提供の場にて、受傷程度のおよそ半数が骨折に至っております。

各サービス種別における事故概要は、次のページを参照ください。

※グラフは、報告数が極端に少ない項目は省いています。

訪問系サービスの事故概要

- ・ 訪問系サービスの報告件数は 18 件となっており、要介護 1 及び要介護 4 の方の報告がともに 5 件となっている。
- ・ 訪問看護 4 件のうち 2 件は、チューブ等の挿入・抜去に関する事故となっている。

通所系サービスの事故概要

- ・ 事故種別として、転倒転落が多数を占め、発生場所としては、食堂共用部・浴室・機能訓練室の順となっており、要介護 1 及び 2 の方の受傷が多い結果となっている。
- ・ 転倒転落による受傷程度は、多くが骨折に至っており、続いて打撲・捻挫となっている。時間帯としては、10 時台、13～16 時の時間帯に多く発生している。
- ・ 受傷はないものの、事業所からの離設も 14 時台に多く発生している。

福祉用具貸与等の事故概要

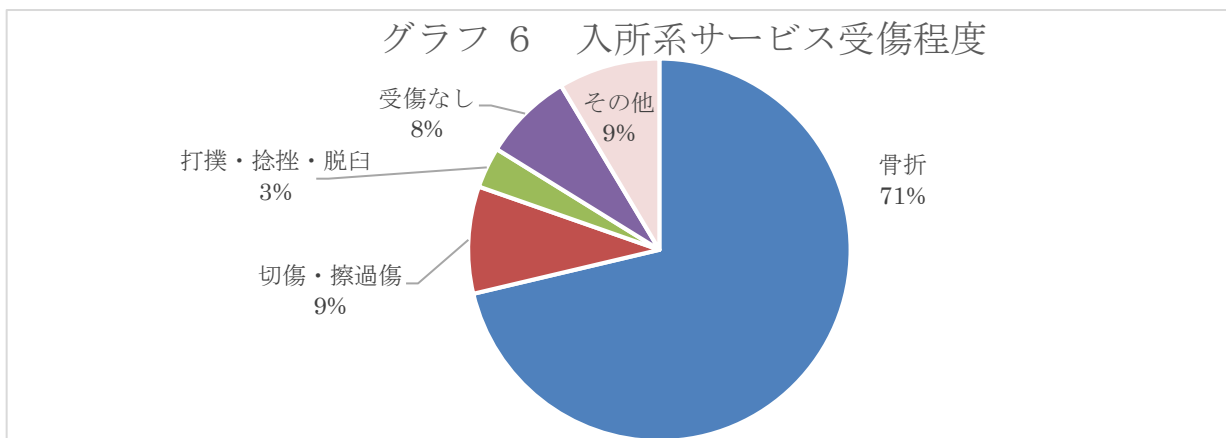
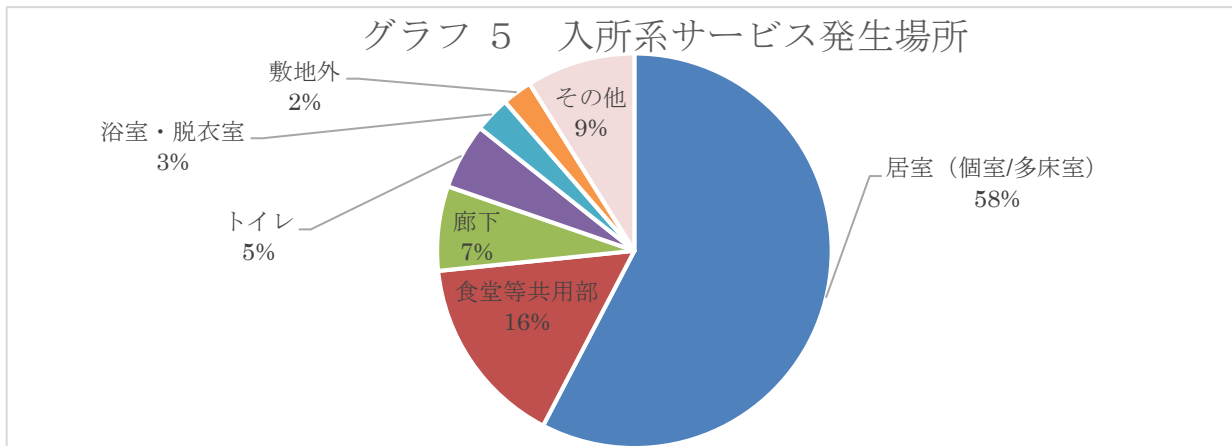
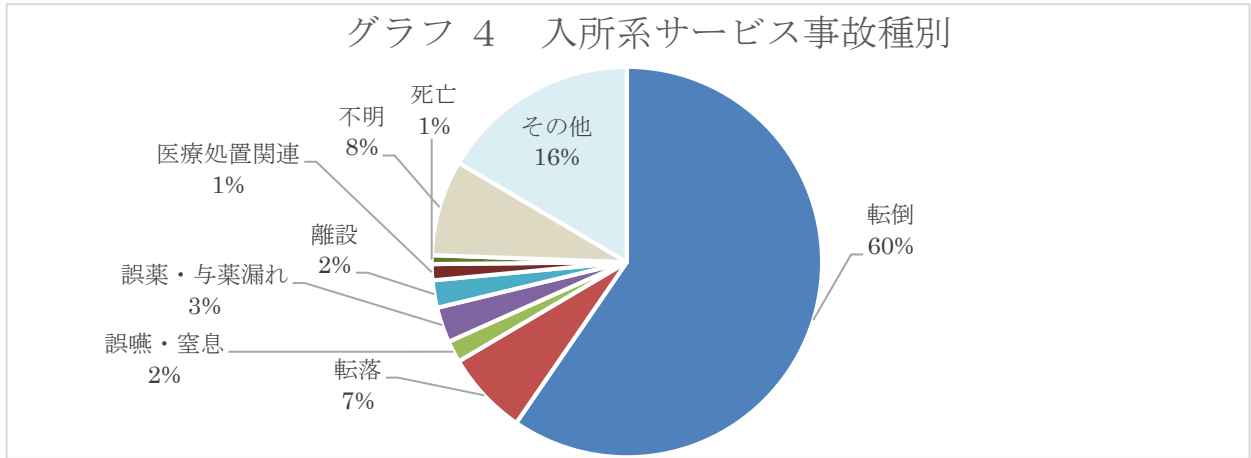
- ・ 事故報告のうち 1 件は、福祉用具の一部が破損し転倒した事故となっている。
- ・ 他 1 件も福祉用具利用中の転倒事故であるが、利用者の体調不良が要因としてあった。

小看多機の事故概要

- ・ 事故種別として、転倒転落が多数を占め、発生場所としては、居室、食堂共用部の順となっている。要介護 1 及び 2 の方の受傷が多い結果となっている。
- ・ 受傷はないものの、事業所からの離設が 7～8 時台に発生している。
- ・ 事故の発生時間帯は、20 時～翌 6 時までに全体の 3 割程度が発生している。

(3) 入所系サービスの事故報告の状況

6ページの「15～24」を入所系サービスとして扱っています。



入所系では、居室での転倒転落による骨折が報告されている。

各サービス種別における事故概要は、次のページを参照ください。

※グラフは、報告数が極端に少ない項目は省いています。

老健（短期を含む）の事故概要

- ・事故種別として、転倒転落が多数を占め、発生場所としては、居室、食堂共用部、廊下、トイレの順になっており、要介護 3 の方の受傷が多い結果となっている。
- ・転倒転落による受傷程度は、多くが骨折に至っており、続いて切傷・擦過傷となっている。時間帯としては、6～7 時、14 時台、18～19 時の時間帯に多く発生している。

特養（短期を含む）の事故概要

- ・事故種別として、転倒転落が多数を占め、発生場所としては、居室、食堂共用部、トイレ、廊下の順になっており、要介護 3 の方の受傷が多い結果となっている。
- ・転倒転落による受傷程度は、多くが骨折に至っており、原因不明での骨折も報告されている。
- ・骨折を伴う転倒については、6 時台、18 時台の発生が多く、転落は、11 時台の発生が多くなっている。

GH の事故概要

- ・事故種別として、転倒転落が多数を占め、発生場所としては、居室、食堂共用部、廊下の順になっており、要介護 1 及び 2 の方の受傷が多い結果となっている。
- ・転倒転落による受傷程度は、多くが骨折にて報告されている。
- ・骨折を伴う転倒については、6 時台、18 時台に多く発生している。
- ・事故の発生時間帯は、20 時～翌 6 時までに全体の 2 割程度が発生している。
- ・骨折までは伴わないものの、施設からの離設が 13～15 時台に多く発生している。

特定・有料の事故概要

- ・事故種別として、居室での転倒転落が多数を占めており、要介護 1 の方の受傷が多い結果となっている。
- ・転倒転落による受傷程度は、多くが骨折にて報告されている。
- ・特定の骨折を伴う転倒については、6～7 時に多く発生している。
- ・有料の骨折を伴う転倒については、10 時台、17 時台に多く発生している。
- ・事故の発生時間帯は、20 時～翌 6 時までに全体の 2 割 5 分程度が発生している。

6. 事故に関する留意点

(1) 事故防止対策について

- ・ 同じ事業所・施設で同様の事案が繰り返し発生する、または同じ利用者の事故報告が続く場合があります。事故の当事者となった職員だけでなく、サービスの提供に携わる職員全員で事案を共有し、再発防止に取り組むことが大切です。
- ・ 事故の再発防止には、利用者の状態、職員の技術・配置、設備や環境、時間帯など様々な観点から検討を行うことが必要です。「誰が」「いつ」「何を」「どのように」改善するのか、具体的な対策を検討し、検討の場に同席しない職員にも理解しやすいようにまとめ、共有してください。写真などを報告書に載せることも有効です。
- ・ 再発防止策は、一定期間実施したのち、効果を振り返り、必要に応じて再検討を行うと効果的です。
- ・ 原因が不明な事故の場合、予想される原因について分析し、再発防止策を検討してください。
- ・ 事故に至らないヒヤリハット（インシデントレベル）についても、収集・分析し、重大事故を未然に防ぐための取り組みを行う必要があります。ヒヤリハットについて、事業所・施設内で報告基準が設けられておらず、十分な件数を収集できていない事例があります。職員の気づきを促すためにも、どのような内容をヒヤリハットとして集めているのか、何のために集めているのか、事業所・施設内で共通理解を図り、前向きに取り組むことができるようご配慮ください。

(2) ご本人・ご家族対応について

- ・ ご利用者やご家族への説明が十分に行われておらず、トラブルや苦情につながった事案がありました。事故発生時だけではなく、経緯や原因分析、再発防止策、費用負担などについて、利用者本人や家族へ必要な説明を行い、相手の受け止めを確認するなど慎重かつ丁寧な対応をお願いいたします。
- ・ 仙台市にご家族から事故報告書が提出されているかの問い合わせが多くあります。その際は、事業所に仙台市へ提出した報告書と同じものをご家族にも渡して、報告内容の説明を行うようお願いをしております。

感染症報告について

令和 6 年 7 月 1 日から、一部取扱いを変更しており、昨年の集団指導でもお知らせしておりましたが、問い合わせも多いため、改めてお示しいたします。

新型コロナウイルス感染症が、集団発生した場合は、初回のみ人数を介護事業支援課に F A X にて報告することとなります。

1. 報告が必要な事例

(1) 集団発生が疑われる場合

【報告事例】 下記の①又は②に該当する場合

① インフルエンザ・新型コロナウイルス（概ね 10 名以上）

方 法 様式 1 を介護事業支援課へ F A X（214-4443）するのみ

② 感染性胃腸炎を疑う集団発生（概ね 10 名以上）

方 法 様式 1 を初回に介護事業支援課へ F A X する

様式 2 を終息するまで介護事業支援課へ F A X する

各区管理課への報告は電話，報告様式を F A X する

(2) 重大な感染症患者（又は疑い患者）が 1 名でも発生した場合

【報告事例】 次の感染症に該当する場合

結核，腸管出血性大腸菌感染症（O157 等），麻しん，風しん

侵襲性髄膜炎菌感染症，疥癬，レジオネラ症等

- ・第一報は，電話及び様式 1 を介護事業支援課へ F A X，各区管理課には電話で報告する
- ・診察した医師からも，別途の保健所に届け出はあるが，疑い時点で速やかに報告する

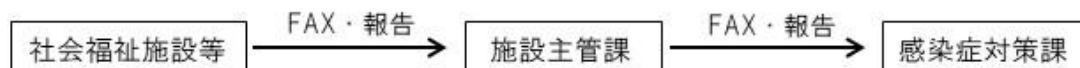
(3) その他の感染症の集団発生を疑う事例が発生した場合

- ・同一の感染症が，利用者及び職員間で発生した事例があった場合
- ・第一報は，電話及び様式 1 を介護事業支援課へ F A X，各区管理課には電話で報告する

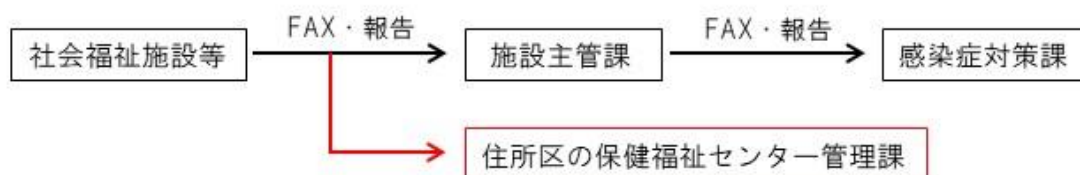
※次のページの報告簡易フロー参照

社会福祉施設等における感染症等発生時の報告簡易フロー

1 インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症の集団発生報告(概ね10名以上)

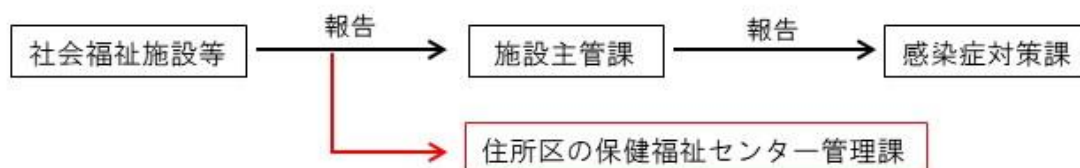


2 感染性胃腸炎の集団発生を疑う事例の報告(概ね10名以上)



3 その他重大な感染症※患者(又は疑い患者)が発生した場合

4 その他の感染症の集団発生を疑う事例が発生した場合



※結核、腸管出血性大腸菌感染症、麻しん、風しん、侵襲性髄膜炎菌感染症等

各区保健福祉センター管理課のご連絡先		
区	電話	ファクス
青葉区管理課	(代) 022-225-7211	022-261-1517
宮城野区管理課	(代) 022-291-2111	022-298-8817
若林区管理課	(代) 022-282-1111	022-282-1145
太白区管理課	(代) 022-247-1111	022-247-1290
泉区管理課	(代) 022-372-3111	022-374-8412

【参考】

- 保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版、厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujdoukateikyoku/0000201596.pdf>
- 高齢者介護施設における感染対策マニュアル(2019年3月、厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index_00003.html
- 感染症集団発生報告書(仙台市ホームページ 様式ダウンロードサービス)
<http://www.city.sendai.jp/kenkoanzen-kansen/download/bunyabetsu/kenko/iryo/houkokuyousiki.html>

参考

「社会福祉施設等における感染症発生時に係る報告について」（平成17年2月22日老発第0222001号等老健局長等通知） 抜粋

4. 社会福祉施設等の施設長は、次のア、イ又はウの場合は、市町村等の社会福祉施設等主管部局に迅速に、感染症又は食中毒が疑われる者等の人数、症状、対応状況等を報告するとともに、併せて保健所に報告し、指示を求めるなどの措置を講ずること。

ア 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間内に2 名以上発生した場合

イ 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合

ウ ア及びイに該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

対象となる社会福祉施設等

【介護・老人福祉関係施設のみ抜粋】

- 養護老人ホーム
- 特別養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 老人デイサービス事業を行う事業所、老人デイサービスセンター
- 老人短期入所事業を行う事業所、老人短期入所施設
- 老人福祉センター
- 認知症グループホーム
- 生活支援ハウス
- 有料老人ホーム（有料老人ホームに該当するサービス付き高齢者向け住宅含む）
- 介護老人保健施設

介護事業支援課への提出様式1

様式1

年 月 日

(あて先) 仙 台 市 健 康 福 祉 局
 介 護 事 業 支 援 課 施 設 指 導 係
 (FAX: 214-4443)

施設・事業所名 _____

報告者名 _____

TEL _____

感染症等の発生事例報告書（随時報告）**【連絡理由】**

- ☐ 同一の感染症・食中毒、又はそれらによると疑われるものが10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- ☐ 同一の感染症・食中毒、又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- ☐ 上記に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われる等、特に施設長が報告を必要と認めた場合

1. 入居者数、利用者数等

長期・短期の区別がない場合は（※）への記入不要です。

利用者数 (登録者数)	長期（※）	名
	短期（※）	名
	合計	名
職員数		名
合計		名

2. 発生している感染症等

○で囲んでください。

インフルエンザ（A型・B型） ・ 新型コロナウイルス ・ 感染性胃腸炎 ・ 疥癬 結核 その他（ ）

3. 有症状者数

年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ） 時 分現在の状況

	受診有			受診無	死亡	備考
	陽性	陰性	入院	疑い		
利用者						
職員						
合計						

この様式1は初回のみ提出。様式2は、終息まで毎日、介護事業支援課あてFAX報告してください。

介護事業支援課への提出様式2

様式2

感染症等の発生事例報告書～発生経過一覧表～

☐ 利用者分 (頁/全 頁)
☐ 職員分 (頁/全 頁)

記入者を記入しないでください

年齢	性別	階・部屋等	発熱	嘔吐	下痢	治癒	月日を記入	受診の有無	診断名	検査の有無	備考
記入例 85歳	男・女	2階・すみれ	発熱	嘔吐	下痢	治癒	月日を記入	有 〇〇病院	感染性 胃腸炎	有 陽性〇/〇	〇/〇～隔離 〇/〇保健所報告 (別紙報告書のとおり)
1	歳	男・女									
2	歳	男・女									
3	歳	男・女									
4	歳	男・女									
5	歳	男・女									
6	歳	男・女									
7	歳	男・女									
8	歳	男・女									
9	歳	男・女									
10	歳	男・女									
11	歳	男・女									
12	歳	男・女									
13	歳	男・女									

※1 様式2は、介護事業支援課あて終息まで毎日定時に報告してください。同内容がわかるものであれば、ほかの様式でも構いません。

※2 「利用者分」と「職員分」はページを分けて作成してください。

※3 期間が長く、ページを追加する場合は、症状が終息した発症者についても、省略せずに記載をお願いします。

様式等のダウンロード等は、本市ホームページをご確認ください。

<介護事業支援課への報告様式>

○高齢者福祉施設等における感染症等発生事例の報告について

(<https://www.city.sendai.jp/shidodaichi/jigyosha/fukushi/fukushi/koresha/kansensho.html>)

ホーム > 事業者向け情報 > 福祉・医療 > 福祉 > 高齢者施設・介護保険などサービス > 高齢者福祉施設等における感染症等発生事例の報告について

<各区管理課への報告様式>

○感染症集団発生事例報告書（感染性胃腸炎・インフルエンザ）

(<https://www.city.sendai.jp/kenkoanzenkansen/download/bunyabetsu/kenko/iryo/houkokuyousiki.html>)

ホーム > 手続き案内・電子申請・申請書ダウンロード > 申請書・届出書様式のダウンロードサービス > 健康・医療 > 医療 > 感染症集団発生事例報告書(感染性胃腸炎・インフルエンザ)

2. 感染症等の発生状況

(1) 集団発生が疑われる事例

- ①インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の発生事例は、通年で多数の報告があり、季節性に流行するものでは無くなっている。
- ②感染性胃腸炎も毎年必ず発生している状況。

(2) 重大な感染症患者（又は疑い患者）が発生した事例

R3～R7の発生状況

感染症/年度	R3	R4	R5	R6	R7
結核	1	1	0	1	1
レジオネラ症	2	1	1	0	1
疥癬	1	1	0	2	0

- ・結核については、入院を要する事例も発生しており、全て疫学検査を伴っている。
- ・レジオネラ症については、ほぼ毎年発生している。

(3) その他の感染症の集団発生を疑う事例が発生した事例

- ・直近の事例はないが、国内で流行の兆しがある感染症（百日咳等）の動向を注視すること。

3. 関連ホームページ，参考資料等

① 国立感染症研究所感染症疫学センター

(<https://id-info.jihs.go.jp>)

② 感染症別情報 【厚生労働省】新型コロナウイルス・インフルエンザ・結核等

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/index.html)

③ 感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について

○ ノロウイルスに関するQ&A 【厚生労働省】

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>)

④ レジオネラ対策

○ レジオネラ対策について【仙台市】

(<http://www.city.sendai.jp/sekatsuese/kurashi/anzen/ese/sumai/rejionera/taisaku.html>)